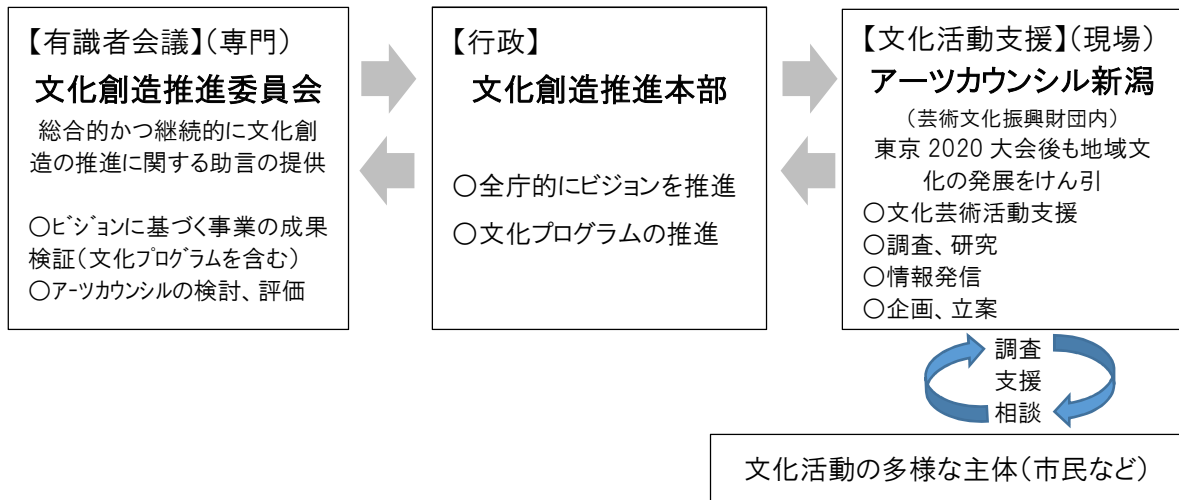


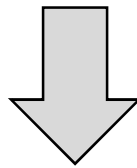
推進体制の変更について

現行ビジョンの推進体制

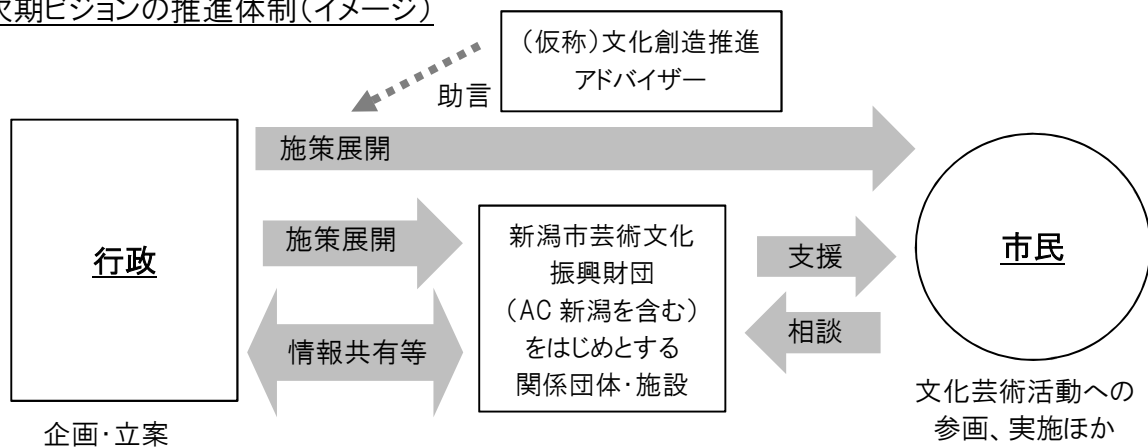


「持続的な文化創造交流都市の推進に向けて、これらの組織がそれぞれの役割を果たしながら全市一体となって取り組む」としていたが、現行ビジョンが扱うテーマが多岐にわたることから、資料のとりまとめに時間がかかることや会議の開催頻度が限られるといった課題があった。

柔軟性及び機動性を高めるために



次期ビジョンの推進体制(イメージ)



変更のポイント

- ✓ 次期ビジョンでは、文化芸術関連施策の展開にあたり、「市民ー地域ーまち全体」のつながりをより明確に！
- ✓ アドバイザー制度に変更し、個別具体的な相談等をより適切なタイミングで実施！
(中間見直し等の際には、必要に応じて有識者会議を開催し、PDCAにつなげる)